

<h3>技術・家庭科の目標</h3>	<h3>評価の観点等</h3>
<p>生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。</p>	<p>評価の観点</p> <p>①知識・技能</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p>
<h3>学習の特色</h3>	<p>①知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族について理解する。 ○家庭の基本的な機能について理解する。理解している。 ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣や栄養素の種類について理解している。 ○1日分の献立作成の方法について理解している。 ○地域の食文化について理解している。 ○用途に応じた食品の選択について理解しているとしているとともに、適切にできる。 ○基礎的な日常食の調理が適切にできる。 <p>☆定期テスト、実技、課題、プリント</p> <p>②思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。 ○自分の食習慣や献立について考え、改善、工夫している。 ○地域の食文化について考え、工夫している。 ○食品の選択や調理の仕方、調理計画について、実践を評価したり、改善したりしている。 ○肉、魚、野菜の調理の仕方、調理計画について考え、工夫している。 <p>☆定期テスト、課題、発表、プリント</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家族との関りについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ○中学生の栄養の特徴について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ○よりよい食生活の実現に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、改善したりして、実践しようとしている。 ○日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 <p>☆自己評価カード、課題、発表、プリント</p> <p>評価規準：○ 評価方法：☆</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くことができる。 ・中学生の時期にある自分と家族の互いの立場や役割を考え、協力することで家族関係をよりよくすることについて、事例を基に考える。 ・生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 ・栄養の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質を理解する事ができる。 ・五大栄養素の種類と働きについて調べる。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量がわかる。 ・食品や調理用具の安全と衛生に留意して管理について理解し、適切にできる。 ・健康などの視点から献立を考え、工夫する。 ・地域の食文化について理解することができる。 ・生鮮食品を観察したり、加工食品の表示を調べる。 ・目的、栄養、価格、調理の能率、環境への影響などの諸条件の視点から適切な選択について考える。 ・調味料や食材のはかり方、洗い方、切り方、加熱方法、盛りつけ方について理解することができる。 ・肉、魚、野菜の調理上の性質を知り、加熱調理の仕方について理解し、基本的な日常食の調理が適切にできる。 	

